科目名	文学国語	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力,人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材　等	【教科書】「文学国語」（数研出版） 【副教材】「音訓別重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「文学国語　準拠ワーク」（数研出版） 「進研 WINSTEP 現代文 2」(ラーンズ)

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時間
第1学期	**山月記** ・本文全体から、虎になる前の李徴の人柄を箇条書きで整理し、文章でまとめる。 ・李徴自身は、自分が虎になったのはなぜだと考えているかをまとめる。 ・作者がこの作品を人間が虎になるという設定にしたのはなぜかを考える。	*4*	【知識・技能】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	*6*
	鍋セット ・「私の住むことになった部屋」は、どのような部屋だったかをまとめる。 ・「母」に対する「私」の心情は、どのように変化しているかを時系列に沿ってまとめる。 ・「私」にとって、「鍋セット」とは何であったかを考える。 ・誰かからの贈り物で、大切にしているものを提示して、三分程度のスピーチをする。		【知識・技能】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。[B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿ってスピーチをしようとしている。	*6*
	無用の人 ・「私」の人物像を整理する。 ・「私」の心情変化をまとめる。 ・「私」は「父」の人生がどのようなものであったと考えているかを説明する。 ・「私」の「父」を指す「無用の人」という言葉はどのような意味で用いられていると考えられるかを説明する。	*5*	【知識・技能】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】「無用の人」という題名の意味について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	*6*
	ナイン ・新道少年野球団のナインについてまとめる。 ・正太郎くんに対して、中村さんと英夫くんは、それぞれどのような思いをいだいているかを説明する。 ・「あんな思いをしたのは、あのときだけです」という「強い口調」からは、英夫くんのどのような心		【知識・技能】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。[B(1)イ]	*6*

	情がうかがえるか、「あんな思い」の内容を明らかにして説明する。 ・正太郎くんはどのような人物だと考えられるか、本文の出来事を踏まえて説明する。 ・正太郎くんを許した英夫くんと常雄くんの心情は、少年野球大会の決勝で正太郎くんが日陰を作ってくれたエピソードとどのように関連しているかを説明する。		【主体的に学習に取り組む態度】登場人物の心情と行動の関連性について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	
	三月の風 ・「父親」の「息子」に対する心情を説明する。 ・「父親」と「息子」の関係について説明する。 ・冒頭の英文「March winds and April showers bring Mayflowers」と、最後の一文「その昔自分にもそんなことがあったのを父親は思い出している」は、作品全体に対してどのような意味を持っているかを話し合う。	*6*	【知識・技能】文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】冒頭と英文と最後の一文が作品全体に対して持つ意味合いを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	*6*
	【知識・技能】定期テスト・小テストにより評価する。			
	【思考・判断・表現】定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。			
	【主体的に学習に取り組む態度】課題及びレポートの記述内容・生徒自身の自己評価・相互評価により評価する。			
	【1 学期の評価方法】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括して、10 段階評定とする。			
学期	**学習内容**	**月**	**学　習　の　ね　ら　い（評価規準）**	**時間**
第２学期	**山椒魚** ・山椒魚の心情変化をまとめる。 ・山椒魚と蛙の関係はどのように変化していったかを、それぞれの心情に着目しながらまとめる。 ・この小説を寓意小説と見た場合、人間におけるどのような状況を表しているかを考える。 ・山椒魚の考え方や行動について、どのような感想を持ったかを話し合う。	*7*	【知識・技能】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。[B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】考えを整理して山椒魚の考え方や行動に対する感想を述べ、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	*6*
	水仙 ・「忠直卿行状記」について整理する。 ・「僕」は静子夫人のどのような点を忠直卿と重ねているかを考える。 ・静子夫人を忠直卿に重ねたとき、「僕の役割」はどのようなものだったかを考える。 ・「僕」が「静子さんの絵を見たくなった」のはなぜかを考える。 ・「僕」が「静子さんの絵を見たくなった」時の「僕」の心情を考える。 ・「僕」が「水仙の絵」を引き裂いたのはなぜだと考えられるか、自分の意見をまとめる。	*8* *9*	【知識・技能】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度 】「僕」が「水仙の絵」を引き裂いた理由を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして文章にまとめようとしている。	*6*
	こころ ・「私（＝先生）」のKに対する心情を整理する。 ・Kが用いた「覚悟」という言葉を「私」はどのように解釈しているかを時間の経過に従ってまとめる。 ・「覚悟」という言葉をKはどのような意味で用いたのかを考える。	*10*	【知識・技能】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。[B(1)イ]	*8*

	・Kの自殺を発見したときの「私」の心情と行動はどのようなものだったかをまとめる。 ・Kの手紙の内容をまとめ、Kの自殺の理由を考える。 ・作品の主題を話し合う。		【主体的に学習に取り組む態度】作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	
	現代日本の開化 ・『こころ』の舞台となった「明治」とは、どのような時代だったかを考える。	*11*	【知識・技能】文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く「明治」という時代性を検討し、学習課題に沿って考察しようとしている。	*4*
	【知識・技能】定期テスト・小テストにより評価する。			
	【思考・判断・表現】定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。			
	【主体的に学習に取り組む態度】課題及びレポートの記述内容・生徒自身の自己評価・相互評価により評価する。			
	【2 学期の評価方法】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括して、10 段階評定とする。			

学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時間
第3学期	**小諸なる古城のほとり** ・「雲白く遊子悲しむ」の悲しみの内容はどのようなものかを説明する。 ・詩を音読し、そのリズムや文語体にどのような印象を受けたかを話し合う。	*12*	【知識・技能】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使えている。[(1)エ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】作品が持つリズムや文体が与える印象を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	*2*
	永訣の朝 ・「兜率の天の食」は、「天上のアイスクリーム」とあったものが後に書き換えられた表現だが、このことによって読者が受ける印象はどのように変わるかを説明する。 ・「わたくし」の「いもうと」に対する心情変化を整理する。 ・「松の針」「無声慟哭」も合わせて読み、宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりについて、感じたことを話し合う。	*1*	【知識・技能】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	*4*
	物語のおわり ・「そんな状況」とは、どのような状況かを「僕」の家族の現状を説明しつつまとめる。 ・「工場を継いでくれ」と頼まれるのと、「拓真のために、お父さんが決めたことなのよ」と言われるのとでは、「僕」の心情にはどのような違いが生じるかを考える。 ・「僕」の考える『空の彼方』の結末を読み取る。 ・『空の彼方』を読み思索をめぐらしたことで「僕」が気づいた自身の欠点は、どのようなことかを説明する。	*2* *3*	【知識・技能】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】『物語のおわり』の中で『空の彼方』という小説がどのような機能を持っているかを踏まえ、学習課題に沿って『空の彼方』の結末を創作しようとしている。	*6*

	・『空の彼方』を読む前と、読んだ後で「紙束を置き、カメラを手にとった」ときとで、「僕」の心情はどのように変化したかを説明する。 ・『空の彼方』の結末を自由に考え、八百字程度で書く。 **文学のふるさと** ・本文にあげられた三つの物語について、筆者はどのような点に着目しているかをそれぞれまとめる。 ・「そこでは、モラルがない、ということ自体がモラルなのだ」「むごたらしいこと、救いがないということ、それだけが、唯一の救いなのであります」「ふるさとは我々のゆりかごではあるけれども、大人の仕事は、決してふるさとへ帰ることではない」とはどういうことかを、それぞれ説明する。 ・筆者は「文学のふるさと」をどのようなものとしてとらえ、文学をどう扱っていかなければならないと考えているかをまとめる。		【知識・技能】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[⑵イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。[B⑴カ] 【主体的に学習に取り組む態度】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	*4*
	【知識・技能】定期テスト・小テストにより評価する。			
	【思考・判断・表現】定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。			
	【主体的に学習に取り組む態度】課題及びレポートの記述内容・生徒自身の自己評価・相互評価により評価する。			
	【1 学期の評価方法】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括して、10 段階評定とする。			

【年間の学習状況の評価方法】
各学期の【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ総括し、年間の５段階評定とする。